

令和7年度第1回図書館協議会会議

事前質問回答票

(1) 令和6年度事業実績及び利用状況について

【事業実績】

	質問	回答
1	<p.7>「図書館まつり」の参加人数は、前年と比べてどうでしたか。また、中高生の参加状況はいかがでしょうか。	「図書館まつり」は、取手図書館、ふじしろ図書館共に、前年同様多くの皆さんでぎわいました。中高生の目立った参加はありませんでした。今後は、同世代のボランティア企画をプログラムに組み込むなど、非来館層を呼び込む企画を検討してまいります。
2	<p.7>図書館まつり（取）おはなし会に参加させていただきました。とてもやわらかい雰囲気の中で絵本の展示・読み聞かせなどが行われていました。ボランティアの方と図書館の職員の方が協力し創り上げている姿も素晴らしいと思いました。	ありがとうございます。日頃より、ボランティアの皆様のご理解ご協力に感謝しております。
3	<p.8>「放課後子どもクラブ訪問おはなし会」では、どなたがおはなしを担当されましたか。その仕事を高校生が担う余地はありますか。	令和6年度は図書館職員が担当しました。過去には図書館で活動するYAサポート（中高生ボランティア）の高校生が担当したこともありました。今後も、中高生の希望を取り入れつつ、訪問おはなし会を実施していきます。
4	<p.8>3-2受入 町探検や職場体験の受入が、全小中学校でないのは何か理由があるのでしょうか？例えば、交通手段がないためでしょうか。	小学生の町探検は徒步圏外の小学校からは希望がない状況です。 中高生、大学生の職場体験、インターナシップは、自転車や車の送迎、電車など交通手段は様々です。当館として

		はできるだけ多くの機会で受入したいと考えています。
5	<p><p.12>7-3通常展示 追悼コーナー</p> <p>私は、追悼コーナーで作家が亡くなった事を知った、という事もありました。</p> <p>それぞれの図書館で、追悼コーナーを企画・展示しているのかどうか。</p> <p>作家によっては一部の図書館での開設のようなので、完成した追悼コーナーをそのまま、他の図書館でも「巡回」したらどうかと考えました。準備の時間の削減にも繋がるのではないかと考えました。戸頭図書館でも、展示してほしい追悼コーナーがあったので。</p>	<p>追悼コーナーは、各館で企画・展示しています。</p> <p>今後、展示を効率的・効果的に実施するために、各館の状況を職員間で十分に情報共有するとともに、市民の方々への情報発信方法についても検討してまいります。</p>
6	<p><p.17>図書館関係研修</p> <p>3月にカス・ハラ研修。図書館での実際にあったカスハラ、今後予想されるカスハラなどがあったら、差し支えなければ教えていただきたい。</p>	<p>過去には、他利用者について、自身の尺度でルール違反と判断し、注意するよう強く要望され、職員が思うように動かないと備品に対して粗暴な行為をする事案がありました。事案発生時には、個で対応するのではなく、チームで相談をしながら対処してまいります。</p>

【利用統計】

7	<p.28> R 6 の入館者数がコロナ禍前の R 1 と比べると、約 8 割にとどまっていますが、どういう理由があるととらえていらっしゃる	コロナ禍において、密にならないよう椅子やソファーの数を最小限にしていた期間があったため、滞在場所としての認知度が低下したことが考えられま
---	--	--

	っしゃいますか。	<p>す。</p> <p>また、コロナ禍中に始まった子育て支援施設への団体貸出や、取手市電子図書館サービスにより、図書館以外の読書環境が整ってきてていることも要因として考えられます。</p> <p>さらに、社会全体として、スマートフォンが広く普及し、インターネットによる読書や調査の利便性が向上したり、動画等の読書以外の楽しみが増えたりしていることも要因として考えられます。</p>
8	<p.30>利用カード登録率 R6 年度33.8%、新規登録率3.2%について、新規登録率はそんなに変化が無いように思えたのに、利用カード登録率がだいぶ減少しているのが心配に思えました。原因として考えられることは何かありますか？（亡くなる方？転居？市民増加？）	利用カードの登録率については、令和5年度に数年分の有効期限切れデータを削除したため、大幅減となりましたが、新規登録者、有効登録者はほぼ横ばいとなっております。図書館の利用促進につながるよう、サービスポイントやスマートフォンの活用など便利な仕組みを改めてPRしていきたいと考えています。
9	特に、R6の16～18歳の貸出者数・貸出点数が、前年と比べ大幅に減っているようですが、その理由をどのようにお考えでしょうか。<p.33、p.35>	上述のようにスマートフォンの普及も要因として考えられますが、この年度においてはかなり利用いただいている方が高校卒業により来館されなくなつたことも要因となっているようです。令和5、6年度は16～18歳の新規登録者数が前年比増でした。令和6年度には中高生向け企画として「小説家・汐見夏衛さん講演会」を開催し、多くの高校生が参加されました。今後も、ターゲットを見据え、継続的な読書推進の取組を実

		施していきたいと考えています。
1 0	<p.28～>「6. 利用統計」 入館者数、貸出冊数ともに減っていますが、月別の数字から何か言えることはないでしょうか？	月別の数字から入館者数、貸出冊数の減少傾向の理由を読み取ることはできませんでした。入館者数と貸出冊数は概ね比例しており、両数値とも、蔵書点検で休館する6月と、年末年始で休館する12月、1月に減少し、学校の夏休み期間である8月に増加しています。蔵書点検期間前に新企画を行うなど、休館による利用減を補う企画を検討してまいります。
1 1	<p.39>上記に関連して、ほんくるの利用状況を見ますと、小中学校でも程度の大小はありますが、登録者数にしては減っているところが目立ちます。考えられる理由はありますか？	まず、「(9)-1 公立小中学校図書館の利用状況（ほんくる）」の貸出冊数は、学校図書館蔵書の貸出と、ほんくるにより学校に届いた公共図書館蔵書の貸出の合算の数値になっています。 登録者一人当たりの貸出冊数は、前年比、小学校98.3%、中学校92.4%と減少しています。一方、公共図書館蔵書の貸出冊数は、ほんくるレクチャー（小中学校計20回実施）の成果もあり、前年比、小学校で128.7%、中学校299.7%と増加しています。 学校図書館の利用日を学年等で限定する場合がある等、各校ごとに学校図書館の利用形態は様々ですが、今後も学校と連携を図りながら読書推進に努めてまいります。

		中学校：R5 385 冊 (1.6%) R6 1,154 冊 (5.3%)
1 2	<p><p.39>(9)－1 公立小中学校図書館の利用状況（ほんくる）</p> <p>① 小学校</p> <ul style="list-style-type: none"> ・桜が丘小学校について R5、R6年度を比較してR6は4,582冊減少しています。 何か理由があると思うのですが？ 	学校での貸出は、実務を担う学校司書の状況や、図書室の状況に左右される傾向にありますが、学校と連携を図りながら利用促進に努めてまいります。

（2）令和7年度事業計画及び予算について

【事業計画】

	質問	回答
13	<p><p.6>令和7年度目標</p> <p>①「家庭での読書の普及・啓発」の4行目から 「全校児童生徒への啓発パンフレット」の内容をお答えください</p>	<p>本件は、「うちどく絵本リスト」Web版を指しています。</p> <p>「うちどくリスト」は、取手市立図書館資料収集基準に基づき、家庭で会話が広がることを願って、主に、長く読み継がれている絵本や読み聞かせにも向く絵本を選んでいます。物語だけではなく、ノンフィクション絵本も選書し、「わらい」「おしえて！」などの7つのテーマごとに、レベル表示（★～★★★）をつけて計63冊（7テーマ×9冊）紹介しています。</p> <p>【参考】取手市立図書館資料収集基準より抜粋 〔E：絵本〕 ・読書推進活動の充実に資する資料の</p>

		<p>収集に配慮する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身近な素材で簡潔な言葉で書かれている赤ちゃん絵本から、絵として芸術性の優れているものまで幅広く収集する。 ・知識の絵本は、正確な言葉づかいで興味深いテーマのものを収集する。 ・定評のある古典、名作は、児童の発達段階に応じて収集する。 ・長く読み継がれてきた絵本は、積極的に収集する
14	<p.6>「うちどく推薦図書」の選定基準をお教えください	<p>本件は、「よもっと」を指しています。「よもっと」は幼児保護者向けに、うちどくで毎日がたのしく、らくになることを願って年4回発行しています。「うちどクリスト」と同様の基準で「あそぼう！」「大きい・小さい」など各回異なるテーマごとに、レベル表示 (2歳～2.3歳～4.5歳～)をつけて各回5冊程度紹介しています。現在27号まで発行しており、バックナンバーを取りまとめてリスト化することを予定しています。</p>
15	<p.20>高校生の「職場体験」については、どのような内容をお考えでしょうか。中学生の体験とのちがいは何でしょうか。	<p>中高生の職場体験では、図書館の役割を理解いただいた後、カウンターでの接客や図書の整理、ビブリオバトルなどを体験いただいています。中学生と高校生とで体験内容に大きな違いを設けておりませんが、高校生には課題解決に向けた企画立案をしていただくなど、より実践に即した業務を体験していただきたいと考えています。</p>

16	<p><p.22>児童対象の調べる学習コンクール作品展が夏休みに予定されていますが、高校生に対しても図書館が「知の宝庫」であることを知らしめる企画があつてもよいように思いますが、いかがでしょうか。</p>	<p>ご指摘の通り、高校生にも図書館が「知の宝庫」であると認知いただくことは大切なことです。そのため、昨年度委員からご提案いただいた高校生向けのデータベース紹介や、借用が可能であるならば市内高校生の作品展示等、検討していきたいと考えています。</p>
----	--	---

【予算】

1 7	<p><p.27>市民一人当たりの図書購入費は、他市はどのような状況ですか。</p>	<p>本要覧における「市民一人当たりの図書購入費」は図書費、視聴覚資料費の合計を人口で除した数としています。同規模近隣自治体の数値は以下の通りです。※令和5年度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土浦市（14.2万人）210円 ・我孫子市（13.2万人）136円 ・筑西市（9.8万人）255円 ・牛久市（8.4万人）185円 ・龍ヶ崎市（7.5万人）206円 ・守谷市（7.0万人）424円 <p>（出典：我孫子市『日本の図書館2024』、その他『茨城の図書館 令和6年度』）</p> <p>近年の推移はほぼ横ばいですが、令和6年度に物価及び人件費の高騰の影響による図書資料の単価高騰の影響により増となっています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度 205円 106,293人 ・令和4年度 206円 106,143人 ・令和5年度 204円 105,913人 ・令和6年度 242円 105,981人
--------	--	--

		・令和7年度 243円 105,674人
1 8	<p.27> (3) -2 市民一人当たりの図書購入費243円との事ですが、基準のようなものはあるのかどうか？近隣都市の一人当たりの図書購入費と比較してどうか。取手市の場合、人口の推移に伴い、減っているのか（増えているのか）	<p>市民一人当たりの図書購入費の基準として、日本図書館協会が各人口段階の貸出密度（住民一人当たりの貸出資料数）上位10%の市町村の平均数値を「目標基準例」として示しており、その値は348.7円となっています。（『日本の図書館 - 統計と名簿 - 2018』より）</p> <p>なお、上記における「資料費」は、図書、雑誌新聞、視聴覚資料、その他図書館資料の購入に要した経費の合計を人口で除した数値となっており、取手市は346円です。</p>
1 9	<p.27>図書費の内訳（分野）について、今年度の方針（例：今年度はこの分野の図書を充実させる等）がありましたら、教えてください。	当館では、取手市立図書館資料収集基準に基づき購入しています。特に、ユニバーサル図書（点字・大活字・DAISY図書・布絵本・LLブック）の収集に努めています。